

SCHEDULE 7→9月

展覧会スケジュール

2023

7月

8月

9月

Webサイトも
チェック!

大阪市立 自然史博物館

大阪市東住吉区長居公園1-23
TEL:06-6697-6221
開館時間:9:30~17:00
(入館は閉館の30分前まで)
休館日:月曜(祝日・休日の場合は翌平日、
ただし8/7、14は開館)、年末年始

7/7~9/24

特別展
「恐竜博2023」

鎧竜史上最高の完全度と謳われる
ズール・クルリヴァスタイルの実物
化石を中心に、「攻・守」をキーワード
に恐竜たちの進化を読み解きます。



大阪市立 科学館

大阪市北区中之島4-2-1
TEL:06-6444-5656
開館時間:9:30~17:00
(展示場入場は16:30まで、
プラネタリウム最終投影は16:00から)
休館日:月曜(祝日・休日の場合は翌平日、
ただし8/14は開館)、8/29
※11/6よりリニューアル工事等のため
長期全館休館



~8/27

企画展
「プラネタリウムの
歴史と大阪」

2021年12月に打ち上げられた超ド級1新型宇宙望遠鏡
ジェームズ・ウェッブが観た驚異の宇宙の姿とは!?



大阪 歴史博物館

大阪市中央区大手前4-1-32
TEL:06-6946-5728
開館時間:9:30~17:00
(入館は閉館の30分前まで)
休館日:火曜(祝日・休日の場合は翌平日、
ただし8/15は開館)、年末年始

6/28~10/2

特集展示
「ナニコレ?のこうごかく」

なにわ歴博のコレクションを
「ナニコレ?」といながら見て回る、
考古学のクイズラリー的展示です。色、
素材、形などさまざまなモノを集めます。



大阪 中之島美術館

大阪市北区中之島4-3-1
TEL:06-6479-0550
開館時間:10:00~17:00
(展覧会会場への入場は閉場の30分前まで)
休館日:月曜(ただし7/17、9/18は開館)、
年末年始

7/8~9/18

「民藝 MINGEI
—美は暮らしのなかにある」

民藝について「衣・食・住」をテーマにひも
解き、暮らしで用いられてきた品々約150
件を展示します。



7/13~9/14

「Parallel Lives
平行人生
—新宮晋+
レンゾ・ピアノ展」

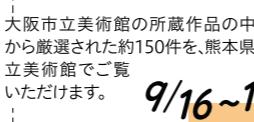
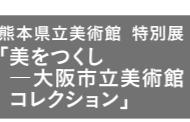
関西国際空港の建築家、
レンゾ・ピアノと風のアーティスト、新宮晋の2人のコラボ作品を中心に彼らの
創作活動をご紹介します。



大阪市立 美術館

大阪市天王寺区茶臼山町1-82
(天王寺公園内)
TEL:06-6771-4874

改修工事のため2025年春(予定)まで休館▶休館中もオンラインイベントなどを開催予定!



大阪市立 東洋陶磁美術館

大阪市北区中之島1-1-26
(中央公会堂東側)
TEL:06-6223-0055

改修工事のため2024年春(予定)まで休館▶イベントの詳細や視聴方法はWebでチェック!

九州国立博物館 特別展
「憧れの東洋陶磁
—大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」

大阪市立東洋陶磁美術館所蔵の名品88件を中心とした全110件により
日本が憧れた東洋陶磁の世界を紹介します。



OSAKA MUSEUMS vol.25

次号vol.26は
2023年9月発行予定です



2023年6月20日発行

発行/(地独)大阪市博物館機構
大阪市中央区大手前4-1-32 大阪歴史博物館内
TEL:06-6940-4330(代表)
制作/(株)ワイルコミュニケーションデザイン研究所



アンケートにご協力ください
抽選で10名に大阪歴史博物館の
常設展示招待券をプレゼント!



見て、感じて、
開け好奇心。

OSAKA MUSEUMS

O
M
十
七
U
A
ト
モ
。

ミュー
ジアム
から
香る、
甘く切
ない物語。

VOL.25
2023.7→9
TAKE FREE



秘めた物語が心を揺さぶる。

迷い込んだのは
熱氣あふれるかつての大坂。

〈 大大阪遊覧 〉

大阪歴史博物館

懐かしおかっぱヘアだが、当時としては斬新なスタイルで珍しがられた。

心斎橋筋でのウンドーショッピングは当時“心ぶら”といって楽しました。

↑八百屋の店内には、ピーク時間に備えて休憩をする店主の姿が。店の裏側も忠実に再現されている。

展示場を進んでいくと、和服姿の市場の店員に、モダンなスタイルで街を歩く女性…。いつの間にかレトロな世界にタイムスリップできるのが、7階の大大阪遊覧です。約100年前、大正時代から昭和初期にかけての大坂は面積や人口で東京を上回り、日本一の都市・大坂と呼ばされました。この時代、大坂市は全国に先駆けて公設市場を開き、心斎橋筋は最先端のファッショング集まる流行の発信地に。都市が急速に発展するとともに、人々は環境のよい郊外での暮らしに憧れを抱き、大阪周辺地域には次々に住宅が建設されました。大阪歴史博物館では、そんな大坂時代の熱気や活力を感じられる

この時代をリアルに体験していくとともに、人々は環境のよい郊外での暮らしに憧れを抱き、大阪周辺地域には次々に住宅が建設されました。大阪歴史博物館では、そんな大坂時代の熱気や活力を感じられる

★7階「大大阪遊覧」で展示中。

〈 薬研・薬研車 〉

大阪市文化財協会

作品や展示品を観て、解説文を読んでふむふむ…。それだけでも楽しいのですが、知られざるサイドストーリーに触ると、さらに深い感動があるもの。今号では、その奥に隠れたさまざまな「エモい」物語の世界へお連れします。

時代劇などで、医者と思しき人が何かをすり潰そうと、ローラーのようなモノをゴロゴロしているシーンに見覚えはありませんか?あの“ゴロゴロ”しているのが、舟形の薬研と、車輪形の薬研車からなるこの道具です。日本に広まった時代は不明ですが、江戸時代には主に生薬を碎くために使われ、木や石、陶磁器、金属、ガラスなどさまざまな素材で作られていました。大阪市文化財協会には、現在の大坂中之島美術館のほど近く、高松藩蔵屋敷跡から出土した江戸時代(19世紀)の備前焼の薬研が保管されています。薬を作る専用道具のイメージがありますが、調味料を挽くために使われていた可能性もあり、実ははっきりした用途は分かっていません。分割されているものの、かつ

無言の道具が語る、150年前の暮らし。

ての姿を留めているこの一組は、発掘調査によって150年以上の時を経て再び地上に姿を現しました。道具は何も語りませんが、当時のどのような人がどのような思いで使用したのか想像してみると、新たな“エモさ”が立ち上がります。

薬研車の取っ手は、発掘調査では出土しなかった。今回は撮影のために角材を使用したが、実際の取っ手部分は丸くつかみやすい形状であったと考えられる。

薬研・薬研車の見学は
9/29(金)まで
事前電話予約にて
詳しくは
7ページへ

せ、役目を終えた現在は大阪市立科学館で静かに来館者を見つめています。宇宙が今よりずっと遠い存在だった時代、人々はカールツアイスII型が映し出す星空にどんな夢を見たのでしょうか。当時の姿を想像すると、思わず“エモさ”が沸き起こります。

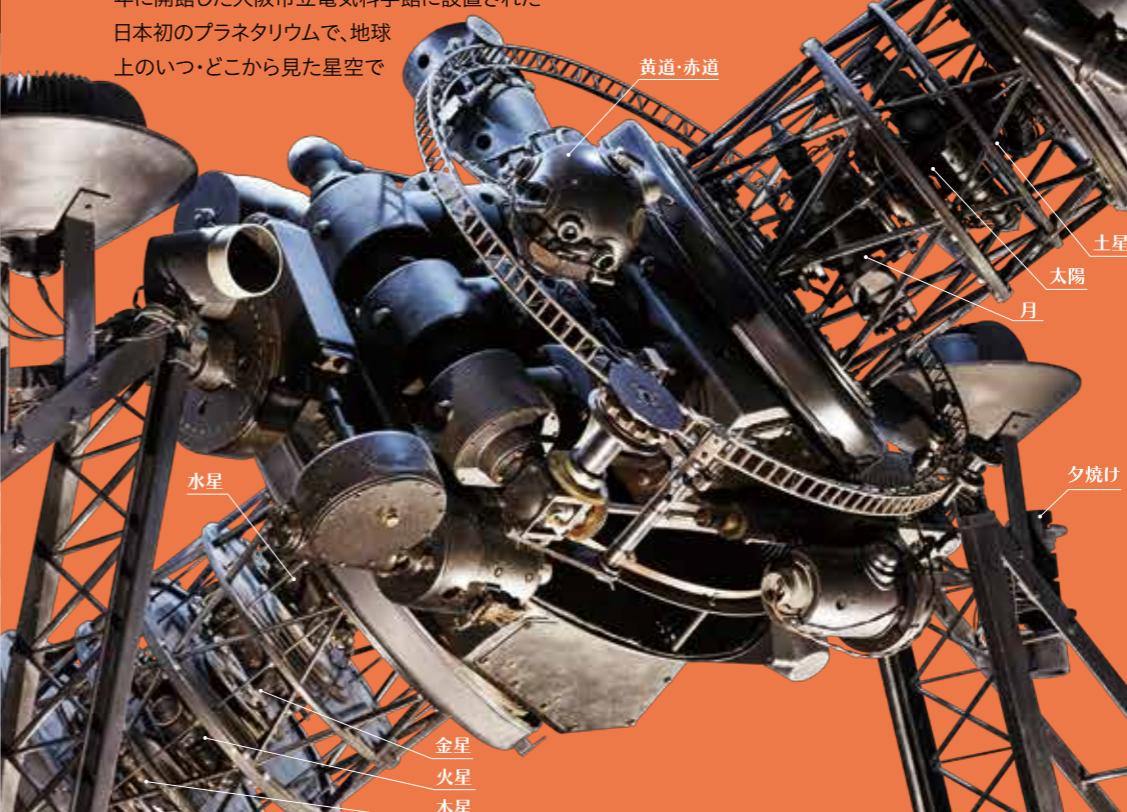
★地下1階プラネタリウム出口付近に展示中。

〈 カールツアイスII型プラネタリウム 〉

大阪市立科学館

子どもの頃、空の先に何があるのかと、果てしない宇宙に憧れたことはありませんか?昭和の時代、そんな子どもたちを夢中にさせたのがカールツアイスII型プラネタリウムです。昭和12(1937)年に開館した大阪市立電気科学館に設置された日本初のプラネタリウムで、地球上のいつ・どこから見た星空で

平成元(1989)年までの52年間で延べ1,100万人を夢中にさ

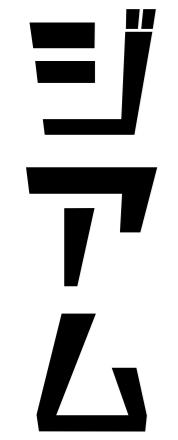
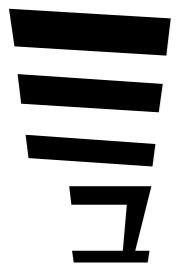


誰もが憧れた、最新鋭の星空。

天文学者の解説が聞けるため、大人もこぞって鑑賞。昭和期の天文教育普及に貢献したことから、今年3月、「日本天文遺産」に認定された。

*白文字は各部の名称を示しています。

まだある！
ユニークで何か気になる
推しなコト。ミュージアムの
お仕事



おお推薦めんごと

みんなで作り上げている。

大阪中之島美術館

事業課 中西正和さん



新しい美術館での仕事は、初挑戦の連続です！

チケット関連業務や、ユニークベニューの業務を担当しています。ユニークベニューは美術館を会場としてファッションショーや映画祭などさまざまなイベントを実施いただくもので、多くの企業や地域の皆さんにご利用いただけています。2022年に開館した新しい美術館なので、私にとっても美術館にとっても初めてづきし日々ですが、職員や地域の方々など“人とのつながり”を大切に、地域に貢献できる美術館づくりに努めています。

名作・名品の
ウラ側を探る！



推しの真相

古墳に眠るのは誰？
カギを握るのは頭の欠けたニワトリ。

《鳥形埴輪》

大阪市平野区の靈園内で出土したと考えられるこの埴輪、羽や足の特徴からニワトリを象ったと判断できます。大阪は古代より都市開発が多く、古墳の実態がなかなか分からず、古墳の墳丘に据えられるニワトリ形の埴輪が見つかったことは貴重な手掛かり。古墳が作られた年代や被葬者を解き明かすヒントになります。今後の研究で、さらなる真相が明らかになるのではと期待されています。

權朝を告げるニワトリ。
力者は「時間」でも
支配したのか？



★特集展示
「ナニコレ?のこうこがく」
(~10/2)にて公開。

コレクターズアイ
これはレア！



ユニークかつ上品なデザインは
プレゼントにもおすすめ

大阪市立美術館

作品の繊細さをそのまま表現。
“飾る”要素ももったしおり。

SEE OH! Ribbon

2種(青銅器・猿) / 各¥1,900(税込)



青銅器や銅鏡と北宋の画家・易元吉の「聚猿図」をモチーフにした、大阪市立美術館オリジナルのしおり。繊細なデザインで戯れる猿の表情などが再現されています。本に挟むと軽やかに揺れ、本棚にそのまま飾れば読書中の本がひと目で分かるかわいい目印に。リボン状の台紙からハサミで丁寧に切り取り、しおりが完成！そのひと手間まで愛着の湧くアイテムです。



特別な場所から覗くと、
星座の絵が出現！？
《偏光ステンドグラス》

大阪市立科学館

入り口頭上の、一見何の変哲もないガラス。実は特定の場所から見ると星座の絵が浮かび上がります。入り口のガラスには光の波の向き(偏光)を変える「偏光板」が貼られ、さらにその上に透明テープを重ね貼りして星座が描かれています。館内に設置されたもう1枚の偏光板を通してだけ、絵を見ることが可能なのです。



見どころ

こちらも

<